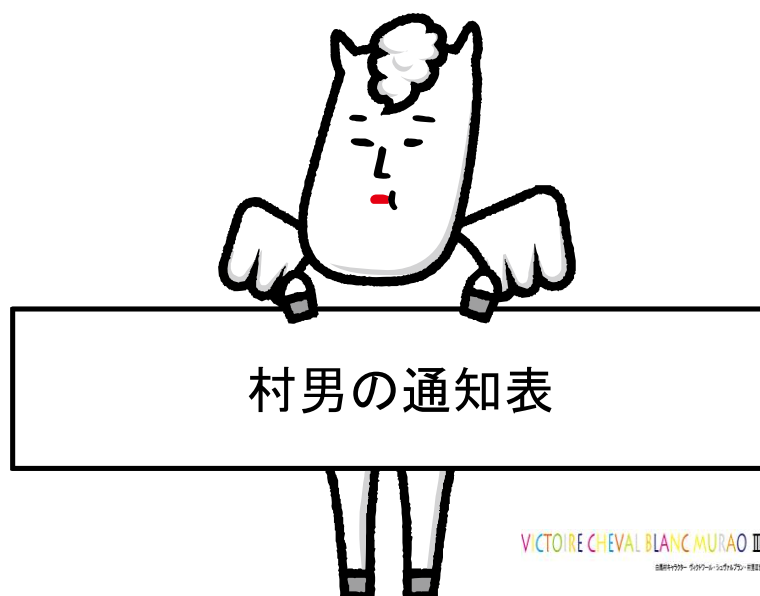


令和4年度（令和3年度実績）
白馬村第5次総合計画・総合戦略評価



令和5年3月

資料1 白馬村第5次総合計画・総合戦略評価について

資料2 白馬村第5次総合計画評価シート

資料3 外部評価委員・事務局名簿

令和 4 年度（令和 3 年度実績）白馬村第 5 次総合計画評価について

1. 評価の目的

総合計画、総合戦略の重要業績評価指標（KPI）を内部（役場）と外部（住民）がPDCAサイクルに基づき、事業進捗状況を確認するため、毎年度評価を実施します。

○白馬村第 5 次総合計画 21 ページ 3. 総合計画の推進より
開かれた村政と住民参画の推進を村政運営の基本とします。計画期間中は、事業の達成度や時代潮流の変化を確認するために、計画が進捗しているかの検証を行うための組織の設置、コーディネーター役の配置、PDCAサイクル仕組みの構築などを行い、随時点検と見直しを行います。

○白馬村総合戦略 31 ページ（6）PDCAサイクルの確立
「まち・ひと・しごと創生」を実現するためには、PDCAサイクルを確立することが必要不可欠であり、重要業績評価指標（KPI）の設定により、効果の検証を行い、必要に応じ見直しを図ります。

○「PDCAサイクル」とは
事業の管理業務を円滑に進める手法の一つ。
Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善）の 4 段階を繰り返すことによって、業務を継続的に改善する仕組みを言います。

～PDCAサイクルの概念図～

白馬村第 5 次総合計画では、PDCAサイクル実現のために役場職員による内部評価、住民による外部評価を実施し、評価を公表します。

2. 評価スケジュール

期日	区分	備考
11月下旬	担当課による内部評価	評価コメント
12月	外部評価委員による外部評価	5段階評定平均点及び評価コメント
R5.1月	総合計画等評価委員会	評価とりまとめ
2月	庁内情報共有	
3月	ホームページ等により公表	

3. 評価シートの見方

区分	内容
評価方法	総合計画の指標（KPI）に基づく内部評価、外部評価
内部評価	担当課による実績値報告と自己評価コメント
外部評価	委員による 5 段階評定の平均点及び評価コメント
	5 期待した成果
	4 概ね期待した成果
	3 半分程度の成果
	2 現時点では成果がみられない
1 ほとんど進んでいない	
* 内部・外部評価は、令和 3 年度実績に対する評価です。	

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画基準年	R7 2025 目標数値	R4内部評価コメント	外部評価基準	R4 外部評価	R4 外部評価コメント
暮らし__安心して みんなが暮らせる 村	多様性を尊重し、 住民が主体的に 共生・協働する 村づくり	住民参画と協働	行政区の継続的な活動の支援	総務課 農政課 建設課	行政区加	70%	80%	<p>この列には令和7年度時に達成すべき数値を入力しています。この数値と各年度の実績値を比較して内部・外部からの評価コメントを記入しています。</p> <p>【農政課】2名 小規模集落中心に支援しており、草刈、支障木伐採等、大変助かる旨の意見があります。</p> <p>【建設課】2名 令和3年度は集落支援員1名を増員し、夏の道路維持作業及び冬の凍結防止剤散布作業等対応しました。これによりきめの細かい道路維持作業が出来たほか除雪コストの低減にもつながりました。</p> <p>3年度に認定された事業者は2件。交付決定は0件となっています。引き続き事業推進のため、周知を行います。</p>	<p>期待した成果</p> <p>4 概ね期待した成果</p> <p>3 半分程度の成果</p> <p>2 現時点では成果がみられない</p> <p>1 ほとんど進んでいない</p>	2.9	<p>・行政区との連携を強化し、又ふるさと納税を活用するなどして、村全体として魅力ある地域づくりを進めてほしい。</p> <p>・住居があれば、必ず行政区に加入すべき</p>
					集落支援員数	6	5				
					住民活動・NPO等の支援	2	5				
		開かれた行政運営	行政情報の発信	総務課	白馬村行政HP PV数 (行政トップページPV数)	152,207	200,000	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、トップページを介さず新型コロナウイルス関連情報への直接アクセス数が増加しています。今後はページ全体の魅力の向上を行い、情報発信に努めます。</p> <p>既に目標値を達成したため上方修正します。発信情報量を増やすことでフォロー数の増加を図るとともに、行政HPにリンクを張ることで更なるアクセス数の向上を図ります。</p> <p>・前年対比35件の増加となりました。引き続き加入メリットを見い出す魅力向上策を検討します。</p>	<p>期待した成果</p> <p>4 概ね期待した成果</p> <p>3 半分程度の成果</p> <p>2 現時点では成果がみられない</p> <p>1 ほとんど進んでいない</p>	3.8	<p>・いずれの指標も上昇しており、期待が感じられる。引き続き、分かりやすい、探しやすい情報発信を心がけてほしい。</p> <p>・HPのリニューアルの時期が来ていると思います。</p> <p>・新村長の発言等スピード感がある。</p> <p>・ユーテレへの加入メリットが感じられない。</p>
					行政FB いいね！数	2,080	2,000				
					ユーテレ白馬加入件数	2,128	2,200				
			意見交換の場づくり	総務課	村への施策提案等のシステム構築 (行政懇談会の開催状況：R3・4地区)	4	1	<p>・村からの情報発信の方法と地区等からの要望の吸い上げ方法については、引き続き有効な方策を住民との対話と共創により最善方法を検討します。</p>			
		多様な人々の 交流・共生	移住・定住の促進	総務課	人口	8,452	9,000	<p>令和3年度中に任期満了による退職者が1名ありました。この退職者は引続き村内定住者となりました。今後は、協力隊の活動分野と地域課題の解決手法を見極めつつ、施策の活用を図ります</p>	<p>期待した成果</p> <p>4 概ね期待した成果</p> <p>3 半分程度の成果</p> <p>2 現時点では成果がみられない</p> <p>1 ほとんど進んでいない</p>	3.3	<p>・移住者数が増えていることは良い傾向。地域おこし協力隊員は登用、活動に関する情報が少なく、適切な評価はむずかしい。</p> <p>・5年先、10年先の白馬村の展望を協議したい。地域おこし協力隊は注目を浴びるほど話題にはなっていない。移住後の区への加入の実感が無い。</p>
					人口の社会増数	-60	200				
					地域おこし協力隊員数	2	10				

この列には令和3年度の実績値が入力されています。
この実績値が【R7 2025 目標数値】に対してどのような状況なのかを【R4内部評価コメント】で説明しています。

この列には令和7年度時に達成すべき数値を入力しています。この数値と各年度の実績値を比較して内部・外部からの評価コメントを記入しています。

外部評価委員は【R3実績値】【R4内部評価コメント】から白馬村が【R7 2025 目標数値】に対してどの程度成果を上げているのかを5段階で評価し、その平均値がこの列に表されています。

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画基準年 実績値	R7 2025 目標数値	R3実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R3成果に対する 外部評価	外部評価コメント	
暮らし__安心して みんなが暮らせる村	多様性を尊重し、 住民が主体的に 共生・協働する 村づくり	住民参画と協働	行政区の主体的な取り 組みの支援	総務課	行政区加入率 ・(世帯) : 2,680/3,817= ・アパート居住者は短期世帯、他世帯の存在を除外すれば、9割程度になると見込む	70%	80%	・引き続き横ばい状態で推移しています。アパート等の居住世帯の加入率向上が、今後の目標達成に向けた課題です。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	2.9	・行政区との連携を強化し、又ふるさと納税を活用するなどして、村全体として魅力ある地域づくりを進めてほしい。 ・住居があれば、必ず行政区に加入すべき	
					地域づくり事業補助金活用地区	23	30	・引き続き効果的な地域づくり事業が図れるよう、行政区役員への連携を図ります。				
			行政区の継続的な活動の支援	総務課 農政課 建設課	集落支援員数	6	5	【総務課】2名 特に認可地縁団体への移行に関する支援、外国人住民への行政施策の情報発信では、行政区との連携、効果的な支援が図れています。 【農政課】2名 小規模集落中心に支援しており、草刈、支障木伐採等、大変助かる旨の意見があります。 【建設課】2名 令和3年度は集落支援員1名を増員し、夏期の道路維持作業及び冬期の凍結防止剤散布作業等対応しました。これによりきめの細かい道路維持作業が出来たほか除雪コストの低減にもつながりました。				
								住民活動・NPO等の支援				総務課
			開かれた行政運営	行政情報の発信	総務課	白馬村行政HP PV数 (行政トップページPV数)	152,207	200,000				新型コロナウイルス感染症の影響により、トップページを介さず新型コロナウイルス関連情報への直接アクセス数が増加しています。今後はページ全体の魅力の向上を行い、情報発信に努めます。
						行政FB いいね! 数	2,080	2,000				既に目標値を達成したため上方修正します。発信情報量を増やすことでフォロワー数の増加を図るとともに、行政HPにリンクを張ることで更なるアクセス数の向上を図ります。
		ユーテレ白馬加入件数				2,128	2,200	・前年対比35件の増加となりました。引き続き加入メリットを見い出す魅力向上策を検討します。				
		意見交換の場づくり		総務課	村への施策提案等のシステム構築 (行政懇談会の開催状況：R3・4地区)	4	1	・村からの情報発信の方法と地区等からの要望の吸い上げ方法については、引き続き有効な方策を住民との対話と共創により最善方法を検討します。				
		多様な人々の 交流・共生	移住・定住の促進	総務課	人口	8,452	9,000					
					人口の社会増数	-60	200					
					地域おこし協力隊員数	2	10	・令和3年度中に任期満了による退職者が1名ありました。この退職者は引き続き村内定住者となりました。今後は、協力隊の活動分野と地域課題の解決手法を見極めつつ、施策の活用を図ります				

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画基準年 実績値	R7 2025 目標数値	R3実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R3成果に対する 外部評価	外部評価コメント
暮らし__安心して みんなが暮らせる村	多様性を尊重し、 住民が主体的に 共生・協働する 村づくり	多様な人々の 交流・共生			移住イベント出展回数	2	4	・効果的なイベント企画の情報収集に努めるとともに、最新の受け入れ事情の情報精査を図ります。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.0	・外国人が多いのではないかと。 広報誌は紙でなくWEBで十分な点もある。
					移住者数	102	80	・目標値を大幅に超える移住者が白馬村へ来てくれています。住居地の少なさを解消することが今後の課題として認識しています。			
			移住・定住の促進	教育家	小中学校転入児童生徒数	17	20	新型コロナウイルス感染症の影響により、外国人世帯の移住は減少していたが、令和4年度からは増加の兆しが見えている。また、子どもは自然豊かな環境で育てたいと希望する家庭の問い合わせも増加傾向である。			
				税務課	新築住宅戸数（累計）	累計 316 (単年 43)	380 (R1目標230+ (30棟×5年))	新築住宅は40件程度で推移しており、その内、共同住宅が10棟程度含まれます。住宅は順調に増加している一方、旅館・ホテルについては減少傾向にあります。			
			多文化共生	総務課	意見交換会開催回数	0	2	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催することが叶いませんでした。令和4年度以降インバウンドのお客様が增加することが予想されるので計画的に実行していきます。			
					英語版広報誌発行回数	12	12	各月の広報誌発行に合わせて英語版広報誌の発行を行いました。引き続き広報はくば発行に合わせて毎月発行を行います。			
			村外の白馬ファンの活用	総務課	ふるさと白馬応援し隊員数	79	80				
					隊員主催イベント回数	0	1	雪国ならではの移住ツアー等を企画しましたが、新型コロナの影響で開催ができませんでした。引き続き、白馬村のファンを増やせるようなイベントを企画していきます。			
					ふるさと納税返礼品取扱数	251	200	目標値は達成していますが、引き続き地場産品の提供を呼びかけ、多くの人に知ってもらえるように努めます。			
			地域支え合い支援	健康福祉課・総務	支え合いマップ作成地区	26	30	平成22年度から毎年マップ作り講習会を開催してきており、昨年度は2地区が新たに作成し、策定済みとなった地区は26地区となりました。マップは災害時だけでなく、日常の地域での支え合い活動に活用できるため、引き続き講習会を開催していきます。			
防災・災害情報の伝達	総務課	防災アプリダウンロード数			1586	10,000	行政区の集会等で説明会を実施するほか、広報誌やホームページ等で引き続き周知を図ります。				
								5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない		・支え合いマップや自主防災組織は有効であるため、早期の全地区実現が必要。 ・防災アプリのさらなる周知をお願いします。 ・居住人が不明だったり外国人だったりで実態が分からない。 防災アプリのDLを促すPRを。	

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画基準年 実績値	R7 2025 目標数値	R3実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R3成果に対する 外部評価	外部評価コメント
	安心・安全の生活を支える村づくり	防災・減災の強化	消防団活動	総務課	消防団協力事業所数	5	6	長野県消防団協力事業所知事表彰を1社受賞しました。これを契機とし、これまで以上に村内事業所へ周知を図ります。		3.5	
					消防団員応援ショップ登録店舗数	11	20	引き続き周知徹底し、協力店舗の増加に努めます。			
			自主防災組織	総務課	自主防災組織設立地区数	26	30	未設置1地区において令和3年度に設立準備を進めています。その他の未設置の地区に対しても区長会議等で周知、また直接案内するなどアプローチを仕掛けます。			
			村全体の防災への取り組み	総務課	地震総合防災訓練等参加者数	0	300	防災訓練は新型コロナウイルス感染拡大により、中止となりました。代替としてケーブルテレビで番組を作成し、放送しました。神城断層地震の経験を風化させないよう、自主防災組織や各種組織と連携を図り、訓練内容の充実に努めます。			
					防災備蓄倉庫数	1	3				
治山治水 (国庫、県単関係)	建設課 農政課	北内山沢治山堰堤 改修	-		【農政課】北内山沢治山堰堤を県事業で改修しました。今後も県への治山要望を継続します。 【建設課】新規の砂防施設、既設施設の長寿命化及び防災のための河川内支障木の除去等国及び県機関へ要望し、対応いただきました。						
暮らし_安心して みんなが暮らせる村			もてなしの村づくり	総務課	村有地の環境美化活動	2	2		5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない		<ul style="list-style-type: none"> 一人ひとり、一軒一軒の、美しい地域を作るといふ心がけや意識が欠けてきている。営業施設の看板や外観の清潔さ等事業者への周知が必要。白馬小径のサインなど、過去に設置したものの維持管理も重要。 特定の場所、団体に維持管理費が出金されている。 外国人も大切であるが、村民を第1としたい。 観光幹線道路の草刈りはまだまだ不足していると感じる。 木造耐震診断・耐震改修補助件数は周知がされていないような感じが見受けられるため建築業組合と協力してはいかかが。
					地区の環境美化活動	60	60	各地区花の里づくり事業や村普請による草刈り、ゴミ拾いにより環境美化活動にご協力いただいています。			
			地域防犯力の向上	総務課	防犯パトロール回数	23	36	コロナ禍において、各機関との連携が困難な時期がありました。引き続き関係機関と連携し目標回数に達するようパトロール実施に努めます。			
			交通安全の推進	総務課	児童生徒の登校時における街頭指導回数	14	18	春夏秋の交通安全運動期間中の平日に、各地区交通安全協会役員により通学路での街頭指導、事務局において見回りを実施しました。			
交通安全啓発に係る広報無線の放送回数	90	24→90			交通安全運動実施月において期間中1日3階行政無線において広報を行いました。今後安全運動期間以外においても、情勢により無線放送を実施します。						

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画基準年 実績値	R7 2025 目標数値	R3実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R3成果に対する 外部評価	外部評価コメント
安心・安全の生活を支える村づくり	日常の住みよさの確保	村内の移動手段の確保	健康福祉課	運転免許自主返納支援事業利用者数（累計）	121	250	制度についての理解は進んでいると思いますが、過去に比べ申請件数が鈍化傾向にあるので、制度の広報・周知を進めていきたいと考えています。	3.3			
			観光課	ナイトシャトルバス利用実績	0	15,000	新型コロナウイルス感染症の影響により訪日外国人観光客の来訪が見込めなかったため、R03（2021）はナイトシャトルバスの運行を取りやめました。				
			総務課 健康福祉課 観光課 教育課	〈既存公共交通網のネットワーク向上〉 神城駅、白馬駅の乗車人数の実績 （※網形成計画）		現状維持					
				〈通年型観光を支援する公共交通の検討〉 白馬サイクルフェスタの参加者数 （※網形成計画）	0	現状以上	新型コロナウイルス感染症の影響により開催が断念されました				
				〈誰もが分かりやすい案内情報の提供〉 解決すべき課題の中の「案内表記」 （※網形成計画）		現状軽減	HAKUBAVALLEYデザインコードに基づき、3市村（大町市、白馬村、小谷村）共通デザインのバス停留所を作成しました。路線ごとにカラーリング、系統図をわかりやすくしました。				
				〈村民との協働機会の創出〉 地域公共交通会議の開催 （※網形成計画）	1回	1回以上	・網計画の具現化を図るため、検討委員会及び交通会議の協議について、開催計画に基づいて適正に開催します。				
			生活と観光と医療のための道路整備	建設課	インフラ長寿命化点検済施設数	橋梁点検数18橋 修繕工事数5橋	107			令和3年度は、前年度からの継続事業として姫川通橋等の修繕工事を行い、施設の長寿命化を図りました。	
			安全な住宅の提供	建設課・総務課	村営住宅戸数	24	24			令和3年度は白馬町団地2棟の解体を行いました。これにより全24戸となり引き続き適正管理に努めています。	
					木造耐震診断・耐震改修補助件数	0	1				
			まちづくりマスタープランによる土地利用計画	建設課	都市計画マスタープランの見直し					計画見直し	令和3年度は新たに都市計画マスタープランの策定（改訂）作業をスタートし、村民アンケート、ワークショップ（2回）等を行い、計画の基礎データを収集しました。これを元に、令和4年度において計画の策定作業を進めます。
地籍調査の推進	農政課	地籍調査済面積（ha）	8.47	8.6	八方地区の調査を継続し、新規地区（北城24区・八方集落の北西部）への調査に着手しました。また、北城21区（八方集落の南部）及び北城22区（八方集落の中部）は登記が完了しました。						

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画基準年 実績値	R7 2025 目標数値	R3実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R3成果に対する 外部評価	外部評価コメント
暮らし__安心して みんなが暮らせる村	支え合う福祉と健康の 村づくり	子育て支援	安全な妊娠・出産への 支援	子育て支援課	合計特殊出生率	1.15	1.15	第3子以上の多子世帯も複数あるため、現在、子育て中の方が、弟妹を望めるような子育て環境を整備し、合計特殊出生率の維持、向上を図ります。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.4	・子育て支援策の拡充が必要ではないでしょうか。 ・行政だけで効率が上がる訳ではないが、相談の出来る窓口があることは期待が持てる。
					妊婦基本健診受診率	100.0%	100%	里帰り出産時の健診費用を補助し、全員の利用が図られています。			
					不妊治療費助成件数	7	4	当治療は、心身、経済面ともに負担が大きいため、今後も相談体制の充実を図ります。			
					年間出生数（累計）	40	220 (44×5年間)	出生児数は減少傾向ですが、両親が外国人の割合が、高くなっています。			
					新生児訪問実施割合	88.9%	90%	海外出産、長期里帰り者を除いて、実施しています。			
					小児科オンライン登録者数	245	200	新規登録者は、30人で第1子の家庭は、ほぼ登録をしています。			
					産婦人科オンライン登録者数	13	20	妊娠中は地域に主治医がいるため、出産後の小児科オンライン登録が主となっています。			
			安心して産み育てることが できる医療体制の維持・充実	健康福祉課 子育て支援課	平日夜間救急医療事業箇所数	0	維持	新型コロナウイルス感染症対応により、令和2年4月より休診となり、令和4年3月31日で廃院となりました。現在はあづみ病院と市立大町総合病院の救急外来で対応しています。			
					大北圏域産科医数	1→0	1	市立大町総合病院産科の再開を広域的に働きかけを継続すると共に、大北松本地域出産子育て安心ネットワークに加入し、安心・安全に産んでいく環境を整えていきます。			
			子育てに関する交流や 相談の場づくり	子育て支援課	"なかよし広場"利用者数	116	1,300	コロナウイルス感染症の影響で利用者が敬遠していたり、感染拡大防止の為に休館等あり、減少しました。引き続き、同年齢の子育て中の親子が気軽に集ったり子育ての不安や悩みを相談できる場を提供する目的から魅力ある事業の実施を努めます。			
					"自由利用"利用者数	794	1,200	コロナウイルス感染症の影響で利用者が敬遠していたり、感染拡大防止の為に休館等あり、減少しました。いつでも自由に遊びに来れる場所の提供をこれからも継続していきます。またどの年齢も安全に遊べるように環境を整えています。			
					子育て支援センター相談件数	318	700	センター以外で身近で相談できる環境（保育園や学校等）があることや村から積極的に声をかけていることにより、直接センターへの相談が減少しているのではないかと考えられます。また、件数は減少しているものの、学習支援や育児に関し難しい相談が増えています。			
					子育て支援アプリ 「おひさまメモリーズby母子モ」 登録者数	246	250	妊娠届の際に、登録案内をしており、ほとんどの方に登録いただいている。			
			子育て家庭への経済的 支援	健康福祉課→ 子育て支援課	小児インフルエンザワクチン助成	613	1,000	コロナ感染症懸念による受診控えと、ワクチン供給時期遅延の影響で、例年より接種者数が減少しましたが、地域全体のインフルエンザ感染の拡大防止効果が得られています。			
子育て支援課	子育て家庭優待パスポート協賛店舗数	31		33	「地域みんなで子どもと子育てを応援しよう」という意識を醸成するため、広報等による積極的な周知活動により、協賛店舗の更なる拡大に努めます。						

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画基準年 実績値	R7 2025 目標数値	R3実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R3成果に対する 外部評価	外部評価コメント	
暮らし__安心して みんなが暮らせる村	支え合う福祉と健康の 村づくり	子育てと仕事の両立支 援	子育て支援課	休日保育利用者数		189	400	出生数は数年前に比べると減少していますが、観光産業が主産業である本村では、休日保育の需要があります。それに対応するため、通常勤務をしている保育士が交代で休日保育の業務にあたっている状況です。休日保育の需要に応えるには、保育士の確保が重要となるため、それらも含めて保育事業の充実に努めて参ります。				
				放課後児童クラブ利用者数		427	470					
			障がい児支援	健康福祉課	児童通所サービス利用者数		50	40				必要な人がサービスを確実に利用できることを重視します。全利用者の計画相談を基に必要なサービスを実施します。
		地域における自立生活 の支援	健康福祉課	障害福祉サービス利用者数		47	55	必要な人がサービスを確実に利用できることを重視します。全利用者の計画相談を基に必要なサービスを実施します。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.8	・実態が分からないが、数値からの判断とする。	
				共同生活介護支給決定者数		17	17	必要な人がサービスを確実に利用できることを重視します。希望者の要望現況に合わせ支援します。				
				地域移行支援利用者数		1	1	必要な人がサービスを確実に利用できることを重視します。利用された方は病院からグループホームへ地域移行することができました。				
				日常生活支援用具給付件数		168	180	必要な人がサービスを確実に利用できることを重視します。希望者の要望現況に合わせ支援します。				
				日中一時支援事業利用件数		188	300	必要とする人は利用できています。希望者の要望現況に合わせ支援します。				
			社会参加の促進と就労 支援	健康福祉課	法定雇用率達成企業数		3	2				障がい者の就労に関する理解促進に努めていきます。
					障害者優先調達推進法調達額		660,175	500,000				取扱品目の拡大を働きかけます。
			権利擁護の体制づくり	健康福祉課	成年後見制度利用支援事業		0	1				昨年度も制度の利用者はありませんでした。R4年度に1件の利用要望があり、手続きを進めています。
		人にやさしいまちづくりの 推進	健康福祉課 建設課 総務課	居宅生活動作補助用具支給件数		0	1	令和3年度は申請がありませんでした。				
				地域福祉総合助成事業住宅改修件数		3	3	高齢者が安心して家庭で暮らせるよう住宅改修に係る費用を補助しました。				
				通訳者派遣利用回数		66	17	コロナワクチン接種の通訳や子育て支援関係の通訳回数が増加傾向にあります。また、水道や建設といった専門的な通訳にも派遣されることがありました。				
		地域包括ケアシステムの 構築	健康福祉課	介護予防取組みグループ数		17	25	コロナの影響で休止し、そのまま活動終了となったグループがあった為、活動グループ数は減少した。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.8	・認知症サポーターやシルバー人材センター等へ将来加盟する方々の間口を広くしておく。 ・増々高齢化が進む中、すべての面で充実させることが必要。	
介護予防事業参加者数				6,031	7,000	介護予防事業については、参加者の高齢化が課題で、少し若い年代に向けた新たな介護予防事業を開始した。						
地域ケア会議開催回数				5	6	コロナ禍で1回開催を見送ったが、リモートで2回、感染対策を取って対面で3回、介護、医療、福祉関係者による地域ケア会議を開催した。						

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画基準年 実績値	R7 2025 目標数値	R3実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R3成果に対する 外部評価	外部評価コメント
暮らし_安心して みんなが暮らせる村	支え合う福祉と健康の 村づくり	高齢者福祉	生活支援サービスの体制整備	健康福祉課	配食サービス食数	3,555	3,000	利用者の死亡や施設入所等により配食数が減少しましたが目標値を達成しました。引き続き包括支援センター等関係機関と連携しながら新たなニーズの把握に努めていきます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.5	・予防啓蒙活動に更に注力していただきたい。
					乗合タクシー利用者数	6,662	9,000	新型コロナウイルス感染症の影響による外出控えの影響もあり、利用者数は7000人を切る状況となりました。			
			高齢者の生きがいづくり	健康福祉課	白馬シニアクラブ会員数	1,280	1,300	シニアクラブの会員数は、年々増加しており、活動も介護施設でのボランティアなど活発に行っています。			
					シルバー人材センター登録者数	560	700	昨年度は50人を超える大幅な減少となりました。引き続き入会説明会を定期的に開催して登録者の増加を図っていきます。なお、数値は大北全体の登録者数です。			
			認知症対策・権利擁護の推進	健康福祉課	認知症サポーター数	1,359	1,500	新型コロナウイルス感染症の影響で小・中学校で開催を見合わせたため、参加者が減少しました。			
		健康づくりと地域医療の充実	生活習慣病予防の推進	健康福祉課 住民課	特定健診受診率	52.8%(速報値)	60.0%	令和3年度の速報値は52.8%です。コロナ禍の影響でやや下降していますが、目標60%を目指します。			
					特定保健指導指導率	67.7%(速報値)	75.0%	令和3年度の速報値は67.7%です。コロナ禍の影響もある中概ね横ばいを続けています。目標達成を目指します。			
			食育の推進	健康福祉課 教育課 農政課	食育ボランティア登録者数	29名	30	令和3年度に3名の方が高齢を理由に退会され、一方で3名の新規加入もありました。今後も、新規会員の登録に努めます。 【農政課】コロナの影響もあり、地場産推進会の活動は出来ませんでした。園芸関係の新規就農者に学校給食への出荷を促すために説明会を開催しました。			
		健康づくりと地域医療の充実	地域医療体制の確保	健康福祉課	平日夜間救急医療事業実施日数	0	維持	新型コロナウイルス感染症対応により、令和2年4月より休診となり、受診者の減少により令和4年3月31日で廃院となりました。現在はあづみ病院と市立大町総合病院の救急外来で対応しています。			
					平日夜間救急医療事業患者数	0	維持				
					在宅当番医制度事業実施日数	延べ214日	維持	北部・中部・北部の3ブロックに在宅当番医を置き、救急緊急の医療応需体制の確保と充実を図り、医療業務を実施しました。			
					在宅歯科当番医事業実施日数	延べ72日	維持	平成18年度より在宅当番医を置き、緊急の医療体制の確保と充実を図り医療業務を実施しました。			
スキー傷害診療実施日数	38日				維持	他に類を見ない本村のスキー傷害診療体制を索道事業者協議会、受託医療機関の理解のもと維持することが出来た。					
スキー傷害診療患者数	625名				維持	新型コロナウイルス感染症の影響により、外国人観光客が激減し、診療患者数も例年の半数程度の受診者数となりました。 看護師等のスタッフ確保は年々困難になってきています。					
医療従事者数(看護師・准看護師)	57				70	看護師等の数は、村内医療機関の数に対し横ばいで看護師等の不足は恒常化している。					
介護人材育成講座受験者数(累計)	42				50	いろんな人に声をかけた結果、受講者数を前年より13名増やすことが出来た。					

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画基準年 実績値	R7 2025 目標数値	R3実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R3成果に対する 外部評価	外部評価コメント
暮らし__安心して みんなが暮らせる村	自立的・効率的で健全 な行財政の村づくり	情報通信技術の活用	個人番号カードの普及 及び活用による住民 サービス向上	住民課	個人番号カード交付率	42%	30%	政府はデジタル社会推進を図るため、マイナンバー カードの取得を進めています。そのため村では毎週 木曜日の17：30～20：00までの夜間と第2土 曜日9：00～17：00までの休日に窓口を開設 し、普及に努めています。政府はマイナ保険証へ 切り替える意向を示していることから90%の交付 率を目指します。(参考：令和4年9月末現 在の交付率50.2%)	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.4	・引き続き、住民の利便性向上と業務効率 化を進めてほしい。 ・RPAの導入を積極的にお願いします。
			システム・基盤等の共同 調達やRPA導入による 業務効率化	総務課	システム・基盤等の共同 調達	3件	4件	現在、基幹システム、戸籍システム、ながの電子 申請システムの共同調達、利用を行っています。 今後、自治振興組合で行っているAI文字起こし システムや新電子申請システム、働き方改革や住 民利便性の向上を図るための新しいシステムの仕 様検討に参加するなどを行い、白馬村にとって必 要なシステムを安価で調達できるように推進しま す。			
					業務へのRPA	1件	2件	現在RPA導入業務はふるさと納税業務のみとな ります。北アルプス広域内において令和3、4年度 において基幹システムと合わせたRPA・AIOCRの 検証を行っています。今後RPA化と相性のいい業 務の選定や実際の削減量の検証などを進め、業 務の効率化を進めます。			
		行財政改革の推進	魅力ある人材の確保と 計画的・効果的な職員 研修	総務課	職員研修受講数	42	130	コロナ禍で対面式研修からWeb研修への切り替 えが進んだ年度でした。感染状況を見ながら、事 業効果の高い対面式研修を実施しました。次年 度以降は、Web研修への参加を積極的に行いま す。			
					インターンシップ受入人数	0	10	コロナ禍において県域を超える移動の制限があ ったため、インターンシップ受入を実施しませんでした。全国旅行支援が始まり、インターンシップ受入 も再開します。			
			財政健全化	総務課 税務課	実質公債費比率	13.1%	15.0%未満	元利償還金の増により単年度数値14.0%まで 悪化しました。今後も元利償還金は高止まりが予 想されるので、健全財政の堅持に努めていきま す。			
将来負担比率	40.0%	85.0%未満			地方債現在高の減や基金残高の増により前年 度と比較して23.8ポイント大幅に改善しました。 引き続き持続可能な財政運営に努めていきま す。						
		税務課	村税現年課税徴収率	98.5	98.5%	滞納整理の強化・推進により着実に未収金が減 少しています。今後も初期滞納者への早期財産 調査・滞納処分強化を図るとともに、滞納繰越 分については入念な各種調査を実施し、滞納処 分もしくは執行停止に繋げていきます。					

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画基準年 実績値	R7 2025 目標数値	R3実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R3成果に対する 外部評価	外部評価コメント
産業_新しい仕事 をつくりだす村	「世界水準」を意識した 観光の村づくり	競争力と持続可能性 を高める観光地経営	白馬連峰への眺望の魅 力最大化	観光課 総務課	眺望スポットの抽出	8	10箇所	3市村で風水、塩の道、山水という様式に基づいて、エリア内の優れた地点をHAKUBAVALLEY八景として選定しました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.1	・グリーンシーズンを牽引する新たな拠点は好調だが、通年型リゾートの実現に向けては、各事業者や観光局、観光課など地域全体での連携が不足している。 ・コロナ後を見据えた準備を怠りなく。 ・スポットの抽出とTV,CM効果で宿泊業、飲食業にも良い効果があれば、宿泊施設との連携プランの作成？ ・グリーンシーズン活用に向け、総合運動場、総合施設の設置を考える。
				建設課	景観計画の策定対象面積	18,936ha	7,324ha	全11回にわたり計画策定委員会での検討を経て、令和3年度末までに景観計画の素案を作成しました。令和4年度において景観行政団体へ移行し、景観計画が最終決定することとなります。			
			核となるスキー場と宿泊 拠点の再生	観光課	ウィンターシーズン(12-3月) 観光客数(万人)	75	150	新型コロナウイルス感染症の影響により外国人観光客数はほぼゼロでありましたが、各種の旅行支援策により日本人観光客はコロナ前の水準に戻つつあります			
			国際リゾートに相応しい 受入環境整備	観光課・総務課	危機管理マニュアルの構築		白馬村観光地 継続マネジメント (DCM)の策 定	2020年3月に白馬村観光防災マニュアルを策定、コロナ禍のためマニュアルを用いた防災訓練ができていない状況です			
			魅力の多様化に向けた コンテンツ創出	観光課	グリーンシーズン(4-11月) 観光客数(万人)	82	130	白馬岩岳マウンテンハーバーやランドステーション白馬といった新たな拠点がグリーンシーズンを牽引しています。これらの会場では、音楽や食のイベントが継続的に開催されており、季節変動の平準化に期待が高まっています			
			観光業の活性化・平準 化による安定的な雇用 創出	観光課	地域未来牽引事業者の新規雇用者数の累計	30	75	事業者の新規雇用は一服しています			
			地域特性を活かしたス ポーツツーリズムの推進	生涯学習スポーツ 課	白馬ジャンプ競技場リフト乗車人数	33,528	83,000				
					スノーハーブクロスカントリー大会出場者数	0	2,300	新型コロナの影響により令和3年度は開催を見送りました。			
					スノーハーブマウンテンバイク大会参加者数	0	250	新型コロナの影響により令和3年度は開催を見送りました。			
			観光施設の維持管理	観光課	老朽化施設等の修繕工事		2箇所	落倉自然園の木道改修工事を2年計画で実施しました			
広域観光の取り組み	観光課	エリア観光客のべ宿泊者数	174.5	3,066千人	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しています						

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画基準年 実績値	R7 2025 目標数値	R3実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R3成果に対する 外部評価	外部評価コメント
産業_新しい仕事 をつくりだす村	農地と森を守り地産を 活かす村づくり	優良農地の保全	里山環境の保全	農政課	耕作放棄地面積(ha) A分類(再生可能)約 12.9ha B分類(再生困難)約 21.0ha	A分類(再生可能)約 12.9ha B分類(再生困難)約 21.0ha	8.2ha→ A分類 (再生可能) 8.2ha B分類 (再生困難) 18.0ha	指標名称を変更します。北城南部ほ場整備の効果により、優良農地確保を図ります。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.5	・ほ場整備や有害鳥獣対策にあつては、環境や景観の保全と観光資源化が優先されなければならない。 ・目標数と同等で概ね達成されています。 ・荒れ地をなくし自然にあう農地作りをする。若者への農業の推進を図ること。
					多面的機能支払交付金取組面積(農地維持)(ha)	427.39	436	対象農地面積が増加しました。未実施地区への説明会を開催しました。			
			農業施設の維持管理	農政課	多面的機能支払交付金対象面積(長寿命化)(ha)	400.52	409	同上			
			ほ場整備の推進	農政課	北城南部地区ほ場整備面積(ha)	40.8	40.8	長野県が事業主です。村は地元との調整役です。工区は1~4工区になり、1工区は全て作付けを開始し、2工区は一部作付け開始となりました。			
					新規地区(新田地区→北城北部地区)ほ場整備面積(ha)	52.1	52	実情に合わせて指標名称を変更します。R3は地域の合意形成が図れず、事業が先延ばしになりましたが、地元協議により事業は継続実施することになりました。			
			認定農業者への支援	農政課	村単農業機械等購入補助件数(累計)	44	30→55	指標名称を変更します。R7目標数値を上回っていますので、目標値を上方修正します。農業継続は機械購入が大きな課題です。認定農業者による農業継続に必要な事業です。			
					認定農業者(担い手)への農地利用集積面積(ha)	432	490	指標名称を変更します。認定農業者(担い手)への農地利用集積率は約75%と県内でも非常に高くなっていますが、大規模3法人への集積も限界にきており、今後の対策が必要です。			
					認定農業者数	40	35→43	R7目標数値を上回っていますので、目標値を上方修正します。新規就農者が増加傾向です			
			就農体験の機会づくり	農政課	ふれあい農場及び市民農園面積	3,831	1,900㎡→ 3,831㎡	実情に合わせて指標名称を変更します。ふれあい農園はコロナの影響、利用者激減により閉園しましたが、北城地区市民農園が新たに開園しました。			
			有害鳥獣対策	農政課	農産物被害額(万円)	57	50	イノシシ、サル被害が増加傾向です。直営事業等による緩衝帯整備と有害鳥獣実施隊による駆除に努めます。			
					電気柵資材購入補助件数(個人向け)	11	10	被害に比例し、設置要望も増加傾向です。			

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画基準年 実績値	R7 2025 目標数値	R3実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R3成果に対する 外部評価	外部評価コメント
産業_新しい仕事を つくりだす村	農地と森を守り地産を 活かす村づくり	農産物のブランド化と 特産品の生産・販売 の推進	米の品質向上・ブランド 化	農政課	白馬産ブランド米生産農家数→信州の環 境にやさしい農産物認証制度取得農家数	17	10→17	実情に合わせて指標名称を変更します。R7目標 数値を上回っていますので、目標値を上方修正し ます。環境認証は品目別（米・園）の登録になり ます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.4	・新たなブランド（特産品）創出を望みま す。 ・ブランド化の推進に力を入れる。
			特産品の生産・販売強 化	農政課	紫米消費量（t）	7	8	道の駅と連携しPRに努め、消費量は好調で す。コロナの影響により2年間生産調整を実施し、 村内コンビニでの販売も開始しました。			
				観光課	道の駅販売品収入額→ 村内直売所数	7	300→ 7	農産物に関係ない道の駅白馬の全体の売り上げ を指標にしているため変更します。村内直売所は 増加傾向ですが、現状維持を保ちたいです。			
			地産地消の推進	農政課	地場産品売上高（万円）→ 道の駅白馬ろまん市農産物直売所売上 （万円）	2,200	2,600	実情に合わせて指標名称を変更します。農産物売 上は増加傾向です。			
			ふるさと納税を活用した 特産品のPR	総務課	ふるさと納税返礼品取扱事業者数	58	50	目標値は達成していますが、引き続き地場産品 の提供を呼びかけ、多くの人に知ってもらえるよう に努めます。			
	農地の整備と活用	森林の整備と活用	森林整備地域活動支 援	農政課	森林整備面積（公共造林事業）（ha）	33	60	公共造林事業：飯田地区撤出間伐26.3ha （山仕事創造舎）、木流川周辺緩衝帯整備 2.1ha（北アルプス森林組合）、堀之内・大出村 有地下刈2.7ha（林業経営者協会）、佐野姫 川源流付近緩衝帯整備1.9ha（林業経営者 協会）	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	2.6	・地域ないで森林資源が経済循環できる仕 組みが求められている。 ・ナラ枯れ等の防止に力を入れ、森林の整備 に力を入れる。 ・庁舎や実習館へのストーブ導入は何のため にやっているのかわからない。
			間伐材の有効利用		公共施設への木質バイオマス暖房設備導入 施設数	1	1	役場庁舎に1台導入済みです。R4に飯田地区農 業体験実習館に薪・ペレット兼用ハイブリッドス トーブ導入します。			
			森林資源とふれあう機 会の創出	農政課・観光課	木流川観察会開催数	1	年4回	コロナの影響により、開催回数は1回でした。			
					みどりの少年団交流集会開催数	0	年4回	コロナの影響により、開催できませんでした			
	商工業の振興により雇 用を生みだす村づくり	商工振興・創業支援	商工振興	観光課	小規模事業者経営改善資金 助成金額（万円）	19	170	借入の多くはコロナ関連資金を利用してあり、マル 経資金の新規利用はありません	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	2.6	・景気の上向きにより使用できる様準備は願 いたい。
			創業支援と空き店舗活 用支援、後継者支援	観光課	創業支援者数	6	増加累計：20件	創業支援事業計画に基づき、白馬商工会と創 業塾を開催、創業塾修了者のうち6名が起業し ました			
					店舗後継者数	0	増加累計：5人				
			新しいしごとの創出	総務課	村内コワーキングスペース施設数	2	10	新型コロナウイルスの影響やインターネット環境の整備が 進んでいることで利用者は増加傾向にあり、中 には長期滞在しながらの利用者もいます。 対象施設が増えるよう引き続き制度の周知に努 めます。			
	ふるさと起業家支援事業を活用した起業家 数（累計）	1			5	・引き続き制度の周知に努めるとともに、対象事 業者との連携による地域への波及効果の促進に 努めてまいります。					
	民間活力を活かす村づ くり	産官学金労言連携	大学・企業等との連携	総務課・ 観光課・ 健康福祉課・ 農政課・教育課	連携協定に基づき進行中の事業	6	5	・【総務課】包括連携協定を含めて、6機関との 体制が整っておりますが、事業の停滞や連携の効 果の見直しについても検討していきます。 【農政課】東京農大に総務課を通じ、連携事業 の提案をしました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	2.5	・事業の周知が不足している。

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画基準年 実績値	R7 2025 目標数値	R3実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R3成果に対する 外部評価	外部評価コメント
ひと一人ひとりが 成長し活躍できる 村	学びあい育てあう村づくり	次代を担う子どもたちの学習支援	「自ら学び、自ら考える力」と「生きる力」の育成	教育課	中学校情報端末活用生徒数（延べ）	206	1,100	中学校は平成27年度から個人用タブレットを整備し始め、現在は一人1台のタブレットが整備されている。先行整備したためオペレーションシステムはウィンドウズであるため、令和7年にはクロムブックに一齐に更新を計画している。小学校も一人1台端末が整備されているので、今後指標の見直しを行いたい。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.4	・タブレットの活用内容のチェックをお願いします。 ・まず形を準備。内容はそこからしっかり進めてほしい。 ・少子化のためもっときめ細かい指導に力を入れる。
					小学校情報端末活用児童数（延べ）	396	690	新型コロナウイルス感染症の影響により、文部科学省では一人1台の端末整備を前倒して事業を進めた。白馬村においても令和2年度に端末を整備し、令和3年度から活用している。指標についても当初は5カ年計画で検討していたので、今後指標の見直しを行いたい。			
			地域に開かれた学校づくり	教育課	学習ボランティア登録数	24	3校 計 100名	学校運営協議会が立ち上がったが、小学校では学習ボランティア等の活動まで進んでいない。今後はコーディネーター等の育成などを行いながら活動が活発になるように進めていきたい。			
			安心・安全な学習環境づくり	教育課	子どもを守る安心の家登録数	92	95箇所	通学路安全点検と並行して、引き続き事業を進めていきたい。			
					地場産食材の使用率 野菜・果物・きのこ類	52% 11%	長野県産比率 60% (うち、白馬産比率13%)	比率の算定は重量で行っているため、重い品目の量で比率が増減する。R3年度はジャガイモの出来が不調であったため比率が下がっている。生産者と給食をつなぐコーディネーターの設置を模索しながら進めていきたい。			
			地域を担う人材の育成	総務課 (白馬高支援)	しろうま学舎塾生数	31	60				
		総務課		他県からの入学者数	8	20					
		自己実現を目指す生涯学習と青少年育成	限りない向上心を支える生涯学習	生涯学習 スポーツ課	講座開催回数（のべ）	61	60	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止したり参加人数（定員）を少なく設定したりする講座がありました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.3	・「デジとしよ信州」の周知もお願いします。 ・使用者を増やすためにも、公共テレビの活用も取り入れたりして、村民のための内容にしてもらいたい。 ・図書館新設。幅広い改革が必要。
					講座受講者数（のべ）	651	1,200	新型コロナウイルス感染症の影響により、中止したり参加人数（定員）を少なく設定したりする講座がありました。			
			図書館の充実	生涯学習 スポーツ課	図書館来場者数（延べ）	8,741	30,000	新型コロナウイルス感染症の影響により、予約資料の受け渡しのみ対応した期間もあり、これまでの来館者数を大幅に下回る来館者となりました。			
			人権教育の推進	生涯学習 スポーツ課・ 住民課				【生スポ課】青少年育成村民大会や公民館講座を通じて人権教育の推進を図っています。 【住民課】令和3年度の社会を明るくする運動白馬・小谷推進大会は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、中止としましたが、代替として啓発番組を作成し、ケーブルテレビにて放映を行いました。			
			文化・芸術の振興	生涯学習 スポーツ課	コンサート等入場者数（延べ）	1400	1,250	ジャンプ競技場で撮影された映画「ヒノマルソウル」の上映会や長野県と共催した伝統文化フェスティバル等により例年を上回る実績となりました。			
ひと一人ひとりが 成長し活躍できる 村					週1日以上スポーツをする人の割合	49%	46%	それぞれのライフスタイルに応じてスポーツに取り組めるよう、指導者との連携により教室の参加者の増加を図ります。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果	・クロスカントリー競技場は、さらなる有効活用を期待したい。	

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画基準年 実績値	R7 2025 目標数値	R3実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R3成果に対する 外部評価	外部評価コメント					
生涯にわたりスポーツに親しむ村づくり	スポーツによる健康づくりと活力の創造	スポーツによる健康づくりと活力の創造	スポーツによる健康増進	生涯学習 スポーツ課	体協・総合型地域スポーツクラブ主催教室 参加者数	4,700	6,000	指導者との連携により、教室の新規増設と参加者を増やすことができました。今後も参加者を増やすため、新たなアプローチ方法や情報発信を実施していきます。	2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.6	・コロナの中、安全を考え、早める事の必要を感じる。 ・子ども達を中心にスポーツに関心を持たせ推進を図ること。					
			子どもが日常的に楽しくスポーツに取り組むことができる環境づくり	生涯学習 スポーツ課	中学生のスポーツ実施率	84.0%	89.0%	運動をする子どもと運動をしない子どもの二極化の進展や、少子高齢化が進む状況において、団体スポーツの編成のあり方、放課後にスポーツをする機会等の提供を行い更に実施率の向上を図ります。								
					小学生のスポーツ実施率	88.0%	80.0%	運動をする子どもと運動をしない子どもの二極化の進展や、少子高齢化が進む状況において、団体スポーツの編成のあり方、放課後にスポーツをする機会等の提供を行い更に実施率の向上を図ります。								
			スポーツ競技者の競技力向上	生涯学習 スポーツ課	スポーツ功労賞等受賞者数	28	30	ウインタースポーツ以外でも全国大会で活躍する選手が増えています。引き続き受賞者の掘り起しを行います。								
					スポーツ少年団登録者数	320	410	少子高齢化や取り組むスポーツの多様化が進んでいますが、登録者数増に向けた体験会等を実施し登録者数の増加につとめます。								
					体育協会加盟団体登録者数	1,000	1,300	少子高齢化や取り組むスポーツの多様化が進んでいますが、登録者数増に向けた体験会等を実施し登録者数の増加につとめます。								
					白馬村スキークラブ競技登録者数	50	70	村の文化でもあるスキー競技の発展に向け、スキークラブと連携し、競技者登録増加を目指します。なお、小中学生の競技者数は124人です。								
			スポーツ施設の整備及び充実	生涯学習 スポーツ課	社会体育施設等利用者数（延べ）	47,000	96,000	新型コロナウイルスの影響により利用者が減少しています。施設入館に電子カードを取り入れましたが、予約システムの導入など、引き続き利用しやすい環境の構築に努めます。								
					ウイング21利用者数（延べ）	67,000	62,000	各種団体が開催するイベントや教室の開催数により利用者数の増減があります。今後も関係団体と連携を図り利用者数の増加に努めます。								
					クロスカントリー競技場利用者数（延べ）	7,000	13,500	新型コロナウイルスの影響により利用者が減少しています。新たな利用方法等を検討し、管理委託しているスキークラブと連携し利用者を増やすよう努めていきます。								
			一人ひとりに活躍の場がある村づくり	人のつながりによる活力の創出	若者交流・結婚支援	総務課	広域連携による若者交流イベント開催回数	1				2	大町市で開催された広域の若者交流イベントを5市町村で運営しました。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	2.6	・村独自でも交流イベントを開催してもらいたい。 ・交流の場を増やす。
							婚姻数	100				150				
男女共同参画社会の推進	総務課	白馬村役場の女性職員の課長・係長登用割合		18%	35%											
		白馬村役場の女性職員の採用割合		0%	40	女性合格者の辞退があり、3名の新規職員のうち、3名全員が男性となりました。										
自然_魅力ある自然を守る村		天恵の自然との共生	自然環境保護	観光課 総務課 生涯学習 スポーツ課	環境配慮型トイレへの改修	0	2	【観光課】山岳トイレは改修時に環境配慮型へ移行するよう検討します。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	2.0	・一日も早くトイレを作ること。					

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画基準年 実績値	R7 2025 目標数値	R3実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R3成果に対する 外部評価	外部評価コメント
かけがえのない山岳自然環境を守る村づくり	自然エネルギーの利活用	クリーンエネルギー・自然エネルギーの利活用	気候非常事態宣言、ゼロカーボンシティ宣言に対する取り組み	総務課	気候非常事態宣言、ゼロカーボンシティ宣言の行動計画の策定	ゼロカーボンブックの作成		行動計画の策定		3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・いずれも喫緊の課題であり、早急な前進が求められる。「低公害車輛」は「次世代自動車（EV・PHEV・FCV）」に指標を置き換えることを求めます。 ・今後の小水力発電の在り方に期待します。雑木の無償提供があった気がするが、販売と共に進めてください。 ・小水力に期待。
			小水力発電量（万Kwh/年）		117	140	【農政課】松川土砂流出に伴う、土砂搬出を週一で実施したため、発電量は減少しました。発電機に負荷をかけない安全運転を心掛けています。				
			ペレットストーブ購入補助件数（累計）		55	34→75	実情に合わせ指標名称を変更します。R7目標数値を上回っていますので、目標値を上方修正します。木質バイオマスの啓蒙を図ります。				
			ペレット販売数量（袋）		0	1300→4	【農政課】R3は村で販売するペレット利用者がなかったことから、集落支援業務等で発生する支障木の木質バイオマス利用へ指標を変更します。				
			低公害公用車両数		5	6	リース車両も合わせると6台保有しています。				
			EV自動車普通充電設備助成件数		13	30件/累計	・計画に基づくカーボンニュートラルの実現に向け、引き続き施策の継続と制度周知に努めます。				
自然との生き方を受け継ぐ村づくり	守るべきふるさとの歴史と文化の継承	先人が築いた有形・無形文化継承	生涯学習スポーツ課	村の歴史や文化を知る講座やイベントの開催回数		24	15	「歩いて白馬山麓を一周する（山麓めぐり）」、「神城断層地震と防災（信大連携事業）」、文化祭における木彫作品展示等を実施しました。	3.8	<ul style="list-style-type: none"> ・白馬村を知ることに大切な事業 	
		登山・スキーの歴史・文化の継承	生涯学習スポーツ課	体協スキー教室参加者数		70	70	スポーツニーズの多様化により、ウインタースポーツ離れが深刻化しています。スキーの楽しさを伝える工夫や係る回数を増やすための取り組みを行います。			
		村民登山参加者数		-	20	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止しました。					
美しい景観を守り育む村づくり	自然環境に調和したまちづくりの推進	世界水準の観光地に相応しい開発基準	建設課	世界水準の観光地にふさわしい開発基準	環境審議会 1回		-	令和3年度は景観計画策定作業と並行し、環境審議会において新たな開発のルールを検討しました。令和4年度において条例制定を目指します。	2.9	<ul style="list-style-type: none"> ・白馬らしい自然環境を活かした統一感ある景観・まちづくりが必要。協定や条例を蔑ろにした開発や現状変更には毅然とした対応をとってほしい。 ・不法投棄は許さない覚悟で進めていただきたい。 ・空家廃屋の早期改革。 ・道路端のゴミも少なくなりました。 	
		美しい風景を守るための景観形成	建設課	景観計画の策定	景観計画策定委員会 11回	計画策定		全11回にわたり計画策定委員会での検討を経て、令和3年度末までに景観計画の素案を作成しました。令和4年度において景観行政団体へ移行し、景観計画が最終決定することとなります。			
		白馬駅前無電柱化に伴う歩道の修景距離		130m	1,100m	国道148号 白馬駅～大檜橋間 東側の施行。歩道のデザイン舗装により修景。					
		屋外広告物パトロール実施回数		1回	1回/年						
		空き家・廃屋対策	総務課	空き家の数		14軒	14軒	・移住政策への波及を含め、空き家バンクの創設について検討します。			
不法投棄・野外焼却の防止	住民課	不法投棄パトロールの回数		34	34	週1回の不法投棄監視員による巡回を継続します。野外焼却の通報があるごとに直接指導を行うとともに、状況によっては県と連携して指導に当たっています。また、広報誌等での周知を引き続き図ります。					

基本目標	大分類	中分類	小分類	主管課	指標	R3 2021 後期計画基準年 実績値	R7 2025 目標数値	R3実績についての内部評価コメント	外部評価基準	R3成果に対する 外部評価	外部評価コメント		
自然_魅力ある自然を守る村	美しい景観を守り育む村づくり	自然環境に調和したまちづくりの推進	美しい風景を守るための道路景観保全	建設課	村道管理幅の支障木、雑草の防除	管理総延長315km	L = 10.0Km	集落支援員1名を雇用し、直営による道路維持作業を充実した他、大雪による倒木処理（委託）を6箇所実施しました。また地区で行う沿道の草刈り作業等に対し燃料費支弁等を行い自主活動を支援しました。燃料費支弁 延33件	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.0	・粉じん清掃は事前の広報があれば周辺住民の協力が得られるかもしれない。		
					道路と景観を一にする緑地の除草回数	3	5回	夏の観光トップシーズンに草がなくなるように、春～夏の間に3回実施。					
					道路粉じん清掃の実施	2	2回	雪融け後（GW）と梅雨明け後（夏のトップシーズン）に合わせて2回実施					
	きれいな水と空気に囲まれる村づくり	ごみ処理広域化への対応とごみ減量化	ごみ収集・運搬体制の強化	ごみの削減と分別の徹底	住民課	地区集積場箇所数	79	80	令和3年度で1カ所新設された。引き続き集積場の新規設置、改修等の補助を継続していきます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.6	・リサイクル率の向上が頭打ちになっている感があります。 改めて意識づけが必要ではないでしょうか。 ・ゴミ分別の徹底と教育が必要。 ・地区集積場は、大規模と小規模の長所と短所を検証し、今後の老朽化施設の更新を行うべき。 生ごみ処理は、事業所に対する有効な施策がまた実施されていない。	
					住民課	生ごみ処理機利用世帯数	378	330	生ごみ処理機の購入は、ごみの減量につながることから、引き続き生ごみ処理機購入補助を推進します。400世帯を目指します。				
					住民課	焼却ごみの量（t/年）	2,420	2,800	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により観光客が減少した結果、焼却ごみの量の減少とという特殊事情によるものです。ごみ減量化に向けて引き続き、リサイクル物の分別と生ごみの減量化に取り組みます。				
					住民課	リサイクル率	18.8%	30.0%	新型コロナウイルスの感染拡大の影響によりごみの量は減少したものの、令和2年度よりはごみの量が増えました。反面リサイクル物は減少したことからリサイクル率が、令和2年度と比べ1.5ポイント低下しました。新型コロナウイルスに起因するものの、リサイクルへの意識の向上とリサイクル物の資源としての周知を図ります。				
	きれいで安心・安全な水環境	きれいで安心・安全な水環境	上水道の安定供給	上下水道課	有収率の向上	43.87	60	R3年度冬期間の凍結による宅内漏水の増加や配水管の大規模漏水等により有収率が約4ポイント下がる結果となった。老朽管や重要給水施設への管路更新を含め有収率の改善に努めます。	5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない	3.4	・漏水の連絡が各家庭に行くことのがたさを知ることができた。住民の目が行かないところでの安全確保がありがたい。		
					上下水道課	水質保全	良好な水源水質の持続	基準内				原水全項目検査を基準内に維持する	原水の水質検査において、すべての項目が基準値内で維持できている。クリプトスポリジウム等の対策として指標菌の有無も監視を続けていく。
					上下水道課	ストックマネジメントの実施	ストックマネジメントの実施	0				100	し尿投入施設計画により計画年度を変更した。R4年度 全体計画 実施中 R6年度 個別計画 予定 R7年度より設計及び工事予定
住民課					効率的なし尿処理方法の確立							し尿・浄化槽汚泥を公共下水道にて一元的に処理することで、令和4年度に入り、土地所有者の承諾を得た後、地元区民への説明会を行い、事業を進めることとなった。	

白馬村総合計画等評価委員

	役職名	氏名
1	白馬村民生児童委員	太田 文敏
2	白馬商工会副会長	松本 平司
3	白馬村スポーツ協会会長	山岸 忠
4	区長会会長	太田 芳明
5	大北農協白馬支所長	竹田 俊幸
6	白馬村索道事業者協議会会長	松沢 修
7	白馬村観光局事務局長	福島 洋次郎
8	白馬村スキークラブ会長	中村 光志
9	白馬EVクラブ事務局長	渡辺 俊介
10	白馬村建設業組合	宮尾 英明
	事務局	
1	総務課長	田中 克俊
2	総務課 企画調査係長	山岸 大祐
3	総務課 企画調査係	武田 一馬